


不変の律法

2015年9月24日

国会議事堂のバルコニーからアメリカ
国民の歓迎に応えるローマ法王

A photograph showing Pope Francis and other officials on the balcony of the US Capitol building, looking out over a large crowd of people gathered in front of the building. The Pope is in the center, wearing his white cassock and zucchetto. Other officials in suits and clerical attire are standing around him. The crowd is dense and extends far into the distance. The Capitol building's architecture is visible in the background under a clear sky.

黙示録13:11 わたしはまた、ほかの獣(アメリカ)が地から上って来るのを見た。それには小羊のような角が二つあって、龍のように物を言った。

2015年9月24日

国会議事堂のバルコニーからアメリカ国民の歓迎
に応えるローマ法王



黙示録13:12・・・また、地と地に住む人々に、致命的な傷
がいやされた先の獣(ローマ法王制)を拝ませた。

アリゾナ州の共和党の上院議員
シルビア・アレン 日曜休業令を提案

黙示録13:14 ■ ■ ■ つるぎの傷を
受けてもなお生きている先の
獣の像を造ることを、地に住
む人々に命じた。

2015年2月
上院歳出委員会



恐らく私達はすべてのアメリカ国民が日曜日に
自分の選ぶ教会に出席することを要求する
法案を討論するべきです

00:30



2015年9月24日

ローマ法王、上下両院合同会議で演説

黙示録13:15 それから、その獣の像に息を吹き込んで、その獣の像が物を言うことさえできるようにし、また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。

質問：

神の道德律は修正されたり廃止されることが可能か？

ルカ16:17

しかし、律法の一画が落ちるよりは、
天地の滅びる方が、もっとたやすい。

詩編89:34

わたしはわが契約を破ることなく、
わがくちびるから出た言葉を変える
ことはない。

詩編111:7

…すべてのさとし(欽定訳:
commandments=戒め)は確かである。

111:8 これらは世々かぎりなく堅く立ち、…。

十戒はシナイで与えられる前から常に存在していたか？

創世記39:9「この家にはわたしよりも大いなる者はありません。また御主人はあなたを除いては、何をもわたしに禁じられませんでした。あなたが御主人の妻であるからです。どうしてわたしはこの大きな悪をおこなって、神に罪を犯すことができましょう」。

十戒はシナイで与えられる前から常に存在していたか？

創世記4: 13 カインは主に言った、「わたしの罰(ヘブル語[H5771]: 罪)は重くて負いきれません。

神の品性は律法に反映されている

神は		律法は
ルカ18:19	Good(よい、善)	ローマ7:12
イザヤ5:16	Holy(聖なる)	ローマ7:12
申命記32:4	Just(義、正しく)	ローマ7:12
マタイ5:48	Perfect(完全)	詩編19:7
1ヨハネ4:8	Love(愛)	ローマ13:10

神の品性は律法に反映されている

神は		律法は
出エジプト9:27	Righteous (正しく、真実)	詩編19:9
申命記32:4	Truth (真実、まこと)	詩編119:142, 151
1ヨハネ3:3	Pure (きよく、まじりなく)	詩編19:8
ヨハネ4:24	Spiritual (霊、霊的な)	ローマ7:14
マラキ3:6	Unchangeable (不変)	マタイ5:18
創世記21:33	Eternal (永遠、世々かぎりなく)	詩編111:7, 8

質問:

聖書によると、罪とは何か?

1ヨハネ3:4

罪は不法である。

ローマ3:20

・・・律法によっては、罪の自覚
が生じるのみである。

質問:

1ヨハネ3:4はどの律法に言及しているか？

1ヨハネ3:4「すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。罪は不法である。」

ローマ7:7

・・・しかし、律法によらなければ、わたしは罪を知らなかったであろう。すなわち、もし律法が「むさぼるな」と言わなかったら、わたしはむさぼりなるものを知らなかったであろう。

質問:

イエスは十戒を守ったか?

ヨハネ15:10

・・・わたしがわたしの父のいましめを
守ったので、その愛のうちにおるのと同
じである。

質問:

罪の生活を生きることの報い
は何でしょうか?

質問：

新約時代のクリスチャンに対して律法はもはや拘束力を持たないとよく言われますが、このことについてイエスは何と言われたのでしょうか？

マタイ19:17

・・・もし命に入りたいと思う
なら、いましめを守りなさい。

ヨハネ14:15「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである」。

マタイ5:18

よく言っておく。天地が滅び行くまでは、
律法の一点、一画もすたることはなく、
ことごとく全うされるのである。

多くの牧師たちは「私たちはもはや十戒を守る必要はない。なぜならイエスが律法を成就したからです」と言われる。「成就」とは
どういう意味でしょうか？

マタイ3:15「しかし、イエスは答えて言われた、「今は受けさせてもらいたい。このように、すべての正しいことを成就するのは、われわれにふさわしいことである」。

意味が分からなくなる

マタイ5:17「わたしが律法や預言者を廃すためにきた、と思っではならない。廃するためではなく、成就(排除?)するためにきたのである」。

質問7:どのようにして律法を守ることが可能となるのでしょうか?

ローマ:8:3, 4

律法が肉により無力になっているためになし得なかった事を、神はなし遂げて下さった。すなわち、御子を、罪の肉の様で罪のためにつかわし、肉において罪を罰せられたのである。

これは律法の要求が、肉によらず霊によって歩くわたしたちにおいて、満たされるためである。

ピリピ 1:6

そして、**あなたがたのうちに**良いわざを始められたかたが、キリスト・イエスの日までにそれを完成して下さるにちがいないと、確信している。

質問:

古い契約とは何か？なぜそれは
損なわれたのか？

申命記4:13

主はその契約を述べて、それを行うように、
あなたがたに命じられた。それはすなわち
十誡であって、主はそれを二枚の石の板に
書きしるされた。

ヘブル8:8「ところが、神は彼らを責めて言われた、／「主は言われる、見よ、／わたしがイスラエルの家およびユダの家と、／新しい契約を結ぶ日が来る」。

ヘブル8:10

わたしが、それらの日の後、イスラエルの家と立て／ようとする契約はこれである、と主が言われる。すなわち、わたしの律法を彼らの思いの中に入れ、／彼らの心に書きつけよう。こうして、わたしは彼らの神となり、／彼らはわたしの民となるであろう。

質問：

**恵みの下、信仰によって生きることは神の
律法を守ることを不必要にしないのか？**

ローマ6:15

それでは、どうなのか。律法の下にではなく、
恵みの下にあるからといって、わたしたちは罪を
犯すべきであろうか。断じてそうではない。

ローマ3:31

すると、信仰のゆえに、わたしたちは律法を無効にするのであるか。断じてそうではない。かえって、それによって律法は確立するのである。

ローマ2:13

なぜなら、律法を聞く者が、神の前に
義なるものではなく、律法を行う者が、
義とされるからである。

質問:

人は律法を守ることによって救われるか?

エペソ2:8, 9

あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、
信仰によるのである。それは、あなたがた自身
から出たものではなく、神の賜物である。...

エペソ2:8, 9(続き)

・・・決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることはないためなのである。

質問:

旧約聖書の律法のあるものはもはやクリ
スチャンに対して拘束力をもたないのか？

エペソ2:15

数々の規定から成っている戒
めの律法を廃棄したのである。

神の律法			人間の戒め(マタイ15:9、マルコ7:7)
道徳律	民法	礼典律	人間の教え・言い伝え
十戒	定めとおきて(十戒の原則を例示し、適用するための追加的な戒め)	犠牲制度	コルバン[マルコ7:11]、安息日に歩いても良い歩数など
神によって書かれた	神によって語られモーセによって書かれた	神によって語られモーセによって書かれた	律法の教師によって作られた
永遠から永遠に有効	あるものは有効、あるものは廃される	十字架によって廃された	無効

コロサイ2:14で言われている十字架につけられた律法は礼典律のことであって、道徳律ではない。

質問:

神の律法を守って受ける報
いは何であるか?

箴言29:18

・・・しかし律法を守る者はさいわいである。

詩編119:165

あなたのおきてを愛する者には大い
なる平安があり、何ものも彼らをつまづ
かすことはできません。

古代ユダヤ人と現代のキリスト教界の大罪

	神の律法	キリスト
古代ユダヤ人	○(信じた)	×(拒んだ)
現代のキリスト教界	×(拒んでいる)	○(信じている)

キリストの死は律法の不変性
を証明している

ヘブル2:14 このように、子たちは血と肉とに共にあずかっているので、イエスもまた同様に、それらをそなえておられる。それは、死の力を持つ者、すなわち悪魔を、ご自分の死によって滅ぼし、

2:15 死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた者たちを、解き放つためである。

2:16 確かに、彼は天使たちの性質をお取りにならない
で、アブラハムの子孫を取られた。(下線は欽定訳)

2:17 そこで、イエスは、神のみまえにあわれみ深い忠
実な大祭司となって、民の罪をあがなうために、あらゆる
点において兄弟たちと同じようにならねばならなかつ
た。

ヘブル2:18

主ご自身、試練(誘惑)を受けて苦しまれたからこそ、試練(誘惑)の中にある者たちを助けることができるのである。

イエスは3つの目的をもってこの世に来てくださった

- ①神の律法は変更することが出来ないことを示すため
- ②どんなに貧しくても、道徳的な成長にハンディがあるような環境で育っても、人々に人間は神の律法を守ることができるという模範を示すため
- ③私たちの罪のために身代わりとなって贖罪の完全な犠牲として死ぬため